

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 3

2014 No.714

## 3 はじめの言葉

### 4 情報戦まったただ中

容赦ない周辺国家からの脅威

田原文夫

スパイ天国と揶揄されてきた日本だが、一気に世界水準とまではいかなくとも、せめて近隣諸国並みの国家としてのセキュリティ体制の確立が必要であることに異論はあるまい。ところが、国家セキュリティの確保には、どういう取り組みが必要とされるかの本質の議論をそっこのけで、相変わらず、成立した特定秘密保護法の反対論ばかりで、近隣諸国が利するだけの現状維持論が主張されている。ことさらに、政府の方針決定に反対するだけで、代替案が何も示されていないのは気にかかる。これでは、国内の特秘法反対勢力とは、近隣国も含めて、諸外国のロビーイング活動者でしかないのかとすら思えてくる。スパイ天国と揶揄される現状を改善することは、国家間レベルでの情報戦への対応策にも通ずる問題であるはずだ。先月号でも指摘したように、国民の知る権利論の主張と国家秘密論を危惧する表層的な議論が未だに続行されているが、法案自体はすでに国会決議された。その運用をどうするかを議論する段階である。もちろん、どのような国家秘密の保護が国家国民に必要であるかどうかの議論を否定するものではない。

### 1 1 情報社会を考える その4 2

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

#### 優れた決済システム

インターネット上で取引される仮想通貨ビットコインの取引所のひとつマウントゴックスの経営破綻で、仮想通貨システムに対する懸念、疑念が渦巻くこととなった。どういふ経緯でマウントゴックスが経営破綻するにいたったのか、その詳細は明らかになっていないが、同社に利用者が預けたビットコインが、同社の持ち分も合わせて失われてしまったという。結果、テレビ、新聞などマスコミを挙げての大騒動になっている。一連の騒動はともかくも、二つのポイントで整理することができよう。

まずは、ビットコインの取引所のひとつが経営破綻したということで、ビットコインシステム全体が破綻したわけではない。マウントゴックス社は大手の取引所ではあったが、他に数社の取引運営会社が存在している。また、新たにビットコインの取引所の運営を始めるという動きもある。二つめは、インターネット上の仮想通貨ではあるが、実際にピアツーピア（相対）取引の決済業務に有効な手段であるということ。しかも、手数料など、既存の決済システムに比べて安価であり、その決済システムとしての将来的発展性は大いに期待できるものである。

### 1 3 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その 37

水田 浩

#### オープンガバメント OG 3 機会開発者の登場

情報社会の拡大（第三次産業）

1950年代から70年代にかけ、急速な工業化を通じて高度経済成長を達成した我が国経済は、その後、サービス化、情報化を伴いながら情報社会の時代へと展開している。情報社会では物質的な豊かさだけでなく精神的な充足も重視され、企業には、柔軟で多様な付加価値創造能力が要求されることとなった。総務省統計局「国勢調査」（1950～2005年）「労働力調査」（2009年）（図1 産業の構造割合の推移）では食べ物を作る第一次産業（農林漁業）の割合は、1955年の21.0%から2008年の1.6%まで継続して低下する中で、モノを作る第二次産業（鉱業、建設業、製造業）の割合は、1955年の36.8%から1970年までは46.4%まで上昇したが2008年には28.8%まで低下した。一方、情報をつくる第三次産業（サービス業、卸売・小売業、運輸・郵便、金融・保険業、インフラ産業など）の割合は、1955年の42.2%から2008年には69.6%まで継続して急速に上昇した。

### 1 9 連載 アーキテクチャ論 (35)

ArchiMate2.0の拡張

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本稿では、オープングループのアーキテクチャ記述言語である Archimate[1]（アーキメイト）で拡張されたモデリング言語、動機（モチベーション）拡張と実装移行（インプリメンテーショントランジション）拡張について紹介する。

#### ■拡張の位置づけ

ArchiMateの拡張には、動機拡張と実装移行拡張がある。動機拡張の概念要素には、ステークホルダ、ドライバ、アセスメント、ゴール、要求、制約、プリンシプルがある。動機拡張の概念要素はコア要素のビジネス主体、値、意味と関係づけられる。実装移行拡張の概念要素には、ワークパッケージ、デリバラブル、プレート(Plateau,プラトー)、ギャップがある。実装移行拡張は、コア要素のビジネス役割と位置に関係づけられる。

### 2 7 IT新時代とパラダイム・シフト

第53回 豪雪対策を軽視した行政トップの責任

根本忠明

今年の2月、首都圏は45年ぶりとなる豪雪に見舞われた。緊急の災害対策が求められていたにもかかわらず、国や自治体の対応はお粗末で、豪雪の被害を拡大してしまった。ツイッターやSNSといったソーシャルメディアは活用されず、我が国の東日本大震災やアメリカのハリケーンサンディの教訓は、生かされなかった。その最大の責任は、行政トップの姿勢にあるとあってよい。

### 3 0 続インテリジェンスへのいざない 50

冬季五輪での悲喜こもごも

データとインテリジェンスの狭間

今井 武

悲喜こもごもの冬季オリンピックであった。選手の頑張りや成果としてのメダル獲得に、

日本の多くの国民が熱中した。深夜に及ぶテレビ観戦をした人も多かろう。一喜一憂の背景には、マスコミを通じて予め寄せられていた競技種目に関する情報があつた。これこそが、国民が頼りにした基礎データだった。事実データとインテリジェンス情報について一考してみた。

### 3 3 しすてむこらむ

#### IBM ビッグデータ分析クラウド強化 クラウド環境を一層進化

メゾフォルテ

IBM (米国ニューヨーク州アーモンク) はこのほど、SoftLayer がこれまで以上の品質、種類のサービスを提供するために、「IBM (R) Power Systems」をクラウド基盤のインフラとして採用すると発表した。また、ユーザー企業によるハイブリッドクラウド環境やプライベートクラウド環境の構築を支援する新しいサービスおよびツールも同時に発表した。

### 3 7 一味違うウェブ検索

#### 第四十一話 統計数値に注意する⑥

##### 「統計学が最強の学問である」の嘘

ぐうのうえぶへい

統計学がブームになり、世間から大きな期待が寄せられている。残念ながら、統計学は人々の期待を裏切ってきた。不幸なことに、統計学は人々を騙す手段としても、多々利用されてきた。世の中の統計の数値やデータは、まず疑ってかかるのが、騙されない最良の方法であり、その対策について紹介することにする。

### 3 9 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

☆☆

#### オンデマンド出版のご案内

本誌連載中の山本修一郎氏「アーキテクチャ論」が、オンデマンド出版されております。ご活用下さい。

詳しくは、WebCR ホームページをご覧ください。

#### 「アーキテクチャ論」

山本修一郎 著

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

☆☆

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2014年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの得広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)